

令和3年度

第1回 香川県公共事業評価委員会

目 次

○ 議事次第	1
○ 委員会委員名簿	2
○ 香川県公共事業評価実施要領	3
○ 香川県公共事業評価委員会設置要綱	6
○ 再評価対象事業位置図	8
○ 再評価対象事業総括表	9

【別添資料】

○ 再評価の視点と対応方針決定の考え方	資料－1
○ 大規模特定河川事業 本津川	資料－2
○ 社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業) 新川	資料－3
○ 社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業) 吉田川	資料－4
○ 社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業) 春日川	資料－5
○ 社会資本整備総合交付金(高松港湾環境整備事業)高松港(朝日地区)	資料－6
○ 再評価実施要領	資料－7

令和3年度 第1回 香川県公共事業評価委員会

議 事 次 第

- 1 再評価対象事業の審議
 - 事業説明及び質疑応答

- 2 詳細審議対象事業について

- 3 その他

香川県公共事業評価委員会委員名簿

(令和3年8月現在)

香川大学 名誉教授	井原 健雄
香川大学 名誉教授	白木 渡
(株) 人間科学研究所 所長	池田 弘子
佐藤好美建築工房 主宰	佐藤 好美
(一社) 香川経済同友会 専務理事	大谷 誠一
香川大学創造工学部 教授	角道 弘文
香川大学創造工学部 教授	末永 慶寛

以上 7 委員 (敬称略・順不同)

香川県公共事業評価実施要領

第1 目的

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るとともに、事業計画の効果・効率性や事業効果の発現状況等の検証を行うため、県が事業主体となって実施する公共事業の評価（以下「事業評価」という。）に関して必要な事項を定めることを目的とする。

第2 事業評価の対象

対象とする事業は、県が事業主体として実施する事業のうち、維持・管理に係る事業、災害復旧に係る事業、局部改良事業等の比較的小規模な事業及び単独事業を除く全ての事業とする。

第3 事業評価の区分と対象範囲

事業評価の区分と対象範囲は、以下のとおりとする。

なお、以下に掲げる評価を実施する事業以外の事業についても、国の定める要領及び要綱等に準じ、適宜、適切な時期に評価を実施するものとする。

1 新規事業採択時評価

新規事業採択時評価を実施する事業は、以下のとおりとする。

- (1) 事業費を予算化しようとする事業
- (2) 準備・計画に要する費用を予算化しようとする事業

2 再評価

再評価を実施する事業は、以下のとおりとする。

なお、再評価を実施しようとする年度に事業が完了又は既に主要な工事を完了している事業については、対象事業から除くことができるものとする。

- (1) 事業採択後5年目で未着工の事業
- (2) 事業採択後10年目（ただし、補助事業は5年目）で継続中の事業
- (3) 再評価実施後5年間が経過している事業
- (4) 上記以外の事業で、再評価の実施の必要が生じた事業

3 事後評価

事後評価を実施する事業及び整備計画は、以下のとおりとする。

- (1) 事業完了後一定期間（5年以内）が経過した事業で、県が事後評価を行う必要があると判断する事業
- (2) 整備計画終了後

4 その他

上記1、2及び3以外の評価のうち、社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により事業評価の実施の必要が生じた事業

第4 事業評価の実施及び結果等の公表

1 事業評価の実施時期

- ① 第3の1の事業については、当該予算に係る年度の前年度末までに実施する。
- ② 第3の2（1）の事業については、事業採択後5年目の年度末までに実施する。
- ③ 第3の2（2）の事業については、事業採択後10年目（ただし、補助事業は5年目）の年度末までに実施する。
- ④ 第3の2（3）の事業については、再評価実施時から5年間が経過後の年度末までに実施する。
- ⑤ 第3の3（1）の事業については、事後評価の対象となる年の年度末までに実施する。
- ⑥ 第3の3（2）の整備計画については、計画期間の終了後又は計画期間の最終年度中に実施する。

2 評価結果、対応方針等の公表

評価結果及び対応方針等を、対応方針の決定理由、結論に至った経緯等とともに公表するものとする。

第5 事業評価の手法

事業評価にあたっては、対象事業の特性に応じて評価を行う際に整理すべき指標及び対応方針を決定する際の判断基準等（以下「評価手法」という。）について、適宜設定するものとする。

なお、国の定める要領及び要綱等に規定のある事業の評価を実施する場合は、国の定める要領及び要綱等に基づいた評価手法に準ずるものとする。

第6 対応方針の決定

知事は、事業評価の実施に当たり、第三者の意見を求める諮問機関として、香川県公共事業評価委員会を設置し、意見を聴き、その意見をできる限り尊重して、対象事業の対応方針（継続、事業計画の見直し、休止又は中止若しくは改善措置に関する方針等）を決定するものとする。

第7 その他

この要領に定めるもののほか、事業評価の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要領は、平成24年8月17日から施行する。
- 2 令和2年2月18日 一部改正

香川県公共事業評価委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 香川県公共事業評価実施要領に基づき、専門的な見地からの意見を求めるため、香川県公共事業評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、知事の諮問に応じ、事業評価に係る県公共事業の対応方針について調査審議し、その適否等について知事に答申するものとする。

2 委員会は、調査審議するにあたっては、事業評価に係る県公共事業のうちから特に重要と認める事業を抽出し、当該事業について調査審議のうえ、知事に答申するものとする。

(組織)

第3条 委員会は委員7人以内で組織する。

2 委員は、地域の実状をよく理解している公平な立場にある有識者のうちから、知事が委嘱する。

3 委員の任期は2年以内とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を各1名置く。

2 委員長は委員が互選し、副委員長は、委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総括する。

4 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、委員の2分の1以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 委員長は、委員会の会議を招集することが適切でないと認められるとき、委員の同意を得て、委員への持ち回りの審議により会議の開催に代えることができる。

(意見の聴き取り)

第6条 委員会は、調査審議するため必要があると認めるときは、委員以外の人の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(特例)

第7条 委員会は、市町（一部事務組合を含む。）から当該市町の実施する事業評価に係る公共事業の対応方針について意見を求められた場合においては、第1条及び第2条の規定にかかわらず、当該対応方針について調査審議し、当該市町に答申するものとする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、香川県土木部技術企画課において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

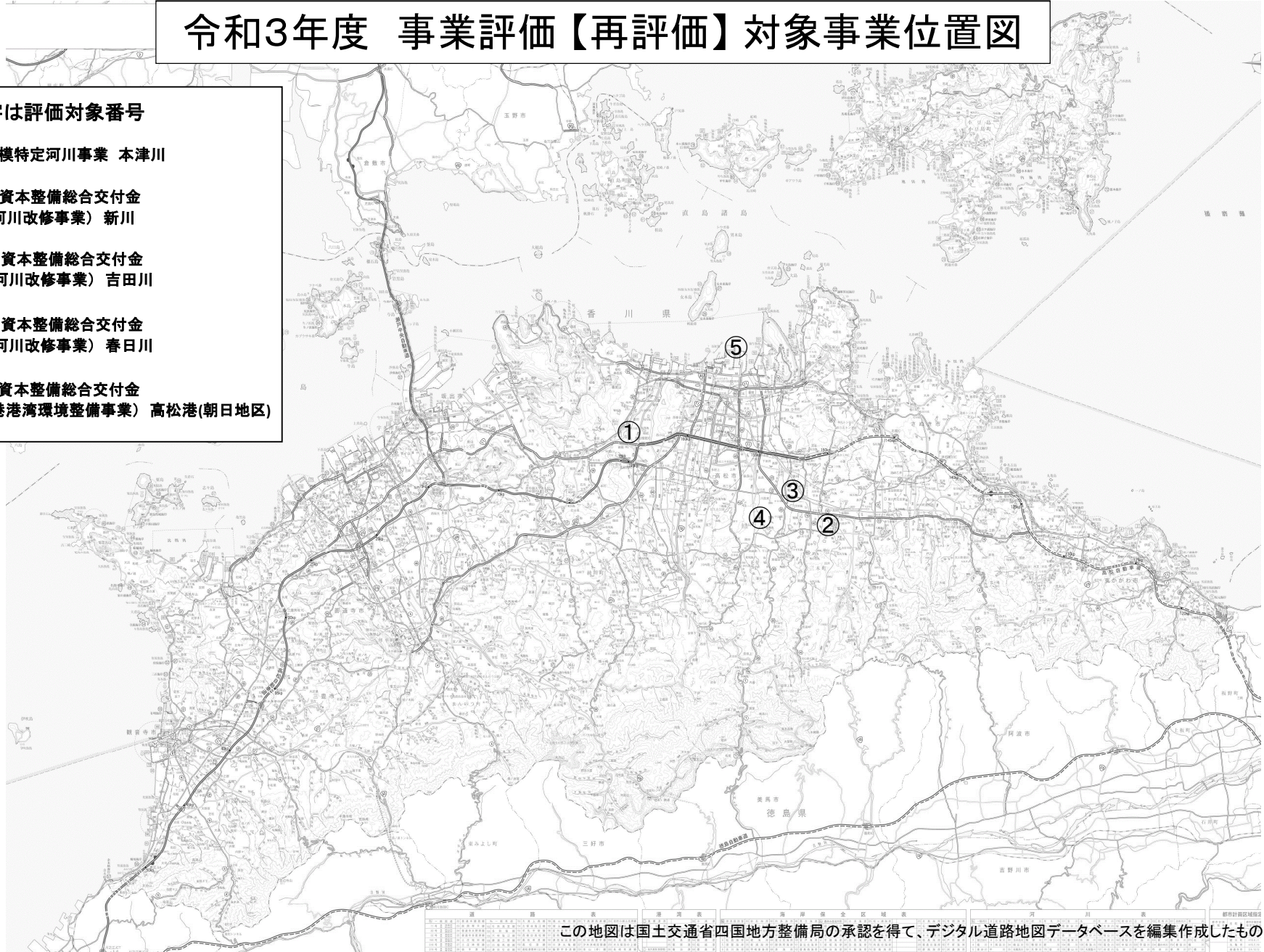
付 則

- 1 この要綱は、平成10年11月11日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、最初の委員会は、知事が招集する。
- 3 平成13年12月18日 一部改正
- 4 平成24年8月17日 一部改正
- 5 令和元年7月30日 一部改正
- 6 令和3年8月20日 一部改正

令和3年度 事業評価【再評価】対象事業位置図

○数字は評価対象番号

- ①大規模特定河川事業 本津川
- ②社会資本整備総合交付金
(広域河川改修事業) 新川
- ③社会資本整備総合交付金
(広域河川改修事業) 吉田川
- ④社会資本整備総合交付金
(広域河川改修事業) 春日川
- ⑤社会資本整備総合交付金
(高松港港湾環境整備事業) 高松港(朝日地区)



この地図は国土交通省四国地方整備局の承認を得て、デジタル道路地図データベースを編集作成したものである

令和3年度 事業評価【再評価】対象事業総括表

令和3年8月現在

評価対象番号	事業名	道路・河川名等	事業主体	工事箇所	着手年度	事業完了予定年度	再評価基準		対応方針(案)	前回抽出の有無	摘要
							年数	区分			
1	大規模特定河川事業	本津川	香川県	高松市	S43	R23	再評価後5年	D	継続	●	H28再評価
2	社会資本整備総合交付金 (広域河川改修事業)	新川	香川県	三木町	S38	R23	整備計画策定後10年	B	継続		H23年整備計画策定
3	社会資本整備総合交付金 (広域河川改修事業)	吉田川	香川県	高松市	S38	R23	整備計画策定後10年	B	継続		H23年整備計画策定
4	社会資本整備総合交付金 (広域河川改修事業)	春日川	香川県	高松市	S35	R23	整備計画策定後10年	B	継続		H23年整備計画策定
5	社会資本整備総合交付金 (高松港港湾環境整備事業)	高松港 (朝日地区)	香川県	高松市	H17	R4		B	継続	●	H26再評価
総計 5事業											

■対応方針(案) 継続 5事業

※○：抽出審議
※●：抽出審議+現場調査

区分

- A: 事業採択後、一定期間経過後未着工の事業
- B: 事業採択後、長期間が経過している事業(事業採択後5年目^{※1})の年度末までに実施)
- C: 事業採択前の準備・計画段階で一定期間が経過している事業
- D: 再評価実施後、一定期間が経過している事業(再評価実施時から5年後の年度末までに実施)
- E: その他(社会経済情勢の急激な変化等により再評価の実施の必要が生じた事業)

※1: 国が定める再評価実施要領に基づく再評価対象事業以外の事業については、事業採択後10年目の年度末までに実施。

令和3年度 事業評価【再評価】対象事業総括表(詳細)

令和3年8月現在

評価対象番号	事業名	道路・河川名等	事業主体	工事箇所	着手年度	事業完了予定年度	総事業費(百万円)	2年度まで執行事業費(百万円)	進捗率	残事業費(百万円)	事業の必要性等	事業が長期化している理由	再評価基準		対応方針(案)	摘要
													年数	区分		
1	大規模特定河川事業	本津川	香川県	高松市	S43(1968)	R23(2041)	19,587	14,714	工事78% (事業費ベース) 用地70% (事業費ベース)	4,873	過去に浸水被害を受けており、流域内の人口、資産額等も多いことから、早期の改修が必要なため。	整備区間が長く、多額の費用と期間を要するため、事業が長期に及んでいる。	再評価後5年	D	継続	H28再評価
2	社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業)	新川	香川県	三木町	S38(1963)	R23(2041)	22,453	19,380	工事85% (事業費ベース) 用地90% (事業費ベース)	3,073	過去に浸水被害を受けており、流域内の人口、資産額等も多いことから、早期の改修が必要なため。	整備区間が長く、多額の費用と期間を要するため、事業が長期に及んでいる。	整備計画策定後10年	B	継続	H23年整備計画策定
3	社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業)	吉田川	香川県	高松市	S38(1963)	R23(2041)	5,464	4,976	工事93% (事業費ベース) 用地90% (事業費ベース)	488	過去に浸水被害を受けており、流域内の人口、資産額等も多いことから、早期の改修が必要なため。	整備区間が長く、多額の費用と期間を要するため、事業が長期に及んでいる。	整備計画策定後10年	B	継続	H23年整備計画策定
4	社会資本整備総合交付金(広域河川改修事業)	春日川	香川県	高松市	S35(1960)	R23(2041)	22,128	15,983	工事76% (事業費ベース) 用地65% (事業費ベース)	6,144	過去に浸水被害を受けており、流域内の人口、資産額等も多いことから、早期の改修が必要なため。	整備区間が長く、多額の費用と期間を要するため、事業が長期に及んでいる。	整備計画策定後10年	B	継続	H23年整備計画策定
5	社会資本整備総合交付金(高松港港湾環境整備事業)	高松港(朝日地区)	香川県	高松市	H17(2005)	R4(2022)	1529	1332	工事87% (事業費ベース)	197	平常時は地域の人々の憩いの場として、災害時は高松周辺地域の防災拠点として利用するための緑地の整備を行う。	周辺の土地需要の変化に応じた土地利用計画の見直しや、平時時および災害時の緑地所要規模の見直しに伴う港湾計画の変更期間を要したため。		B	継続	H26再評価
総計 5事業																

■対応方針(案) 継続 5事業

区分

- A: 事業採択後、一定期間経過後未着工の事業
- B: 事業採択後、長期間が経過している事業(事業採択後5年目^{※1)}の年度末までに実施)
- C: 事業採択前の準備・計画段階で一定期間が経過している事業
- D: 再評価実施後、一定期間が経過している事業(再評価実施時から5年後の年度末までに実施)
- E: その他(社会経済情勢の急激な変化等により再評価の実施の必要が生じた事業)

※1: 国が定める再評価実施要領に基づく再評価対象事業以外の事業については、事業採択後10年目の年度末までに実施。